

## 楽天証券、米国株式の最低取引手数料を大幅引き下げ - 業界最低！0.01米ドル（1セント）からお取引可能に -

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、2019年7月22日（月）米国現地約定分より、米国株式取引の最低取引手数料を大幅に引き下げることをお知らせします。改定後の最低取引手数料は業界で最も安い<sup>\*1</sup>、0.01米ドル（1セント）となります。

楽天証券は、より快適に米国株式をお取引いただけるよう、米国株式に関する投資情報の拡充や指値注文の有効期間を業界最長水準<sup>\*1</sup>に延長するなど、継続的なサービス改善を行っています。このたび、最低取引手数料を5米ドルから業界で最も安い0.01米ドル（1セント）に引き下げることで、より低コストで米国株式への投資をいただける環境が整います。

また、楽天証券では、米国株式取引でお支払いいただいた手数料の1%に値する「楽天スーパーポイント」などをプレゼントするポイントプログラム<sup>\*2</sup>もご用意しています。貯まったポイントは「楽天市場」をはじめとした楽天グループの各種サービスでご利用いただけるほか、楽天証券の「ポイント投資」で投資信託の購入（積立含む）代金の一部または全額に充当も可能です。

楽天証券は、お客様に低コストでお取引いただける環境を提供すべく、継続的に株式等の手数料引き下げを行ってきました。今後もお客様のニーズにあわせた商品・サービスを提供することで、個人投資家のみなさまの資産形成に貢献してまいります。

### ■米国株式取引 手数料各社比較表（2019年7月22日以降。税抜）

	楽天証券	SBI証券	マネックス証券
最低取引手数料	<b>0.01米ドル（1セント）</b>	5米ドル	0.1米ドル（10セント）
取引手数料	約定金額×0.45%	約定金額×0.45%	約定金額×0.45%
最高取引手数料	20米ドル	20米ドル	20米ドル

※1：米国株式を取扱う主要ネット証券（口座数上位3社：SBI証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較。（2019年7月5日現在、楽天証券調べ）。

※2：国内株式の取引手数料体系を「超割コース」に設定いただく必要があります。「超割コース大口優遇」の場合は2%に値するポイントをお受け取りいただけます。お受け取りいただけるポイントは「楽天スーパーポイント」または「楽天証券ポイント」どちらかのご選択が可能です。なお、法人のお客様の場合、ポイントプログラムは対象外となります。

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会